

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年8月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年8月度ギャラクシー賞月間賞

NNNドキュメント'23「でくのぼう～戦争とPTSD～」

8月13日放送 24:55～25:25 山形放送

主人公の父親は復員後、無表情に座っているだけになり、周りから「でくのぼう」と軽蔑された。しかし、後に戦争体験者の「心的外傷後ストレス障害（PTSD）」のことを知って、父が戦争で心を壊されたと理解する。その後の主人公の活動を軸に、緻密で広範な取材が展開され、戦争で傷ついた個人の内面の問題を大きな視点で捉えている。

ファミリーヒストリー「草刈正雄～初めて知る米兵の父 97歳伯母が語る真実とは～」

8月14日放送 19:30～20:42 日本放送協会 NHKエンタープライズ

時間と労力をかけた調査ぶりに番組スタッフの本気度が伝わってくる力作。その結果、新事実が明らかになり、ほとんどわからなかった父親の故郷、親族が判明していくところは感動的だった。加えて、そのVTRを見た草刈正雄本人が日本に残された側として複雑な表情だったのもリアル。戦争に翻弄された人々の物語として心に残る。

NHKスペシャル「アナウンサーたちの戦争」

8月14日放送 22:00～23:30 日本放送協会

当時最先端の情報メディアであるラジオからの発信を担うアナウンサーの世界を通して、一般庶民の戦争へのかかわりと葛藤が群像劇として描かれる。メディアを通して事実を伝えることの難しさ、何を伝えるべきか、一人ひとりが何をすべきかについて考えさせられた。決して過去の話ではない。国際情勢が不安な今日にもつながる作品。

ETV特集「“玉砕”の島を生きて(2)～サイパン島 語られなかった真実～」

8月26日放送 23:00～24:00 日本放送協会 NHKエンタープライズ グループ現代

サイパン島での日米の戦いで日本人、朝鮮半島出身者、先住民合わせて、1万人以上の民間人が犠牲になったという。サイパンの生存者への取材を30年近く続けた太田直子ディレクターの渾身のドキュメンタリー。地獄を生き延びた生存者たちの証言で、民間人に対する日本の軍人の狂気ともいえるべき言葉や行為が次々に明らかにされる。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年11月号に掲載します